

遠くを撮影する(無限遠)

無限遠では∞(無限遠)にピントが固定されます。景色など遠景を撮影するときに使用します。

1. 【▲】(☺ □)を何回か押して“∞”を表示させます。
2. 撮影します。

手動でピントを合わせる(マニュアルフォーカス)

マニュアルフォーカスでは手動でピントを合わせることができます。ピントを合わせることができる範囲は下記の通りです。

光学ズーム倍率	範囲
1倍	約6cm~∞
3倍	約18cm~∞

1. 【▲】(☺ □)を何回か押して“MF”を表示させます。
 - 手順2で拡大表示される範囲が枠で囲まれます。



枠

2. 【液晶モニター】で確認しながら、【◀】【▶】によりピントを合わせます。

【◀】: 遠い側にピントを合わせる

【▶】: 近い側にピントを合わせる

- 【液晶モニター】にはマニュアルフォーカスの位置が表示され、おおよそのピントの位置が確認できます。
- ピントを合わせている間は表示が拡大表示になり、ピントの確認がしやすくなります。

3. 【シャッター】を押して撮影します。

重要! マニュアルフォーカス時はキースタマイズ(60ページ)により設定されている【◀】【▶】を押しての動作は無効になり、ピント合わせの動作が優先されます。



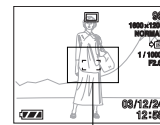
マニュアルフォーカスの位置

フォーカスロック

撮影したい構図で【フォーカスフレーム】に入らない被写体にピントを合わせる場合は、フォーカスロックを使います。フォーカスロックはオートフォーカスモード、マクロモード(☺)で使用できます。

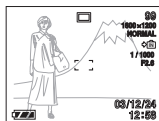
1. ピントを合わせた被写体を【液晶モニター】で見ながら、【シャッター】を半押しします。

- ピントの合わせかた、撮影のしかたはオートフォーカスモードと同じです。
- 【動作確認用ランプ】/【フォーカスフレーム】の点灯のしかたによってピントの状況を知ることができます。点灯のしかたはオートフォーカスモードと同じです。



【フォーカスフレーム】

2. 【シャッター】を半押ししたまま、撮影したい構図を決めます。



3. 【シャッター】を全押しして撮影します。

参考 • フォーカスロックと同時に露出(AE)もロックされます。

露出を補正する(EVシフト)

本機は撮影時の明るさに応じて、露出値(EV値)を下記の手動で補正することができます。逆光での撮影、間接照明の室内、背景が暗い場合の撮影などに利用すると、より良好な画像が得られます。

露出補正値: -2.0EV~+2.0EV
補正単位: 1/3EV

1. RECモードにして【MENU】を押します。

2. “撮影設定”タブ→“EVシフト”と選び、【▶】を押します。



露出補正表示

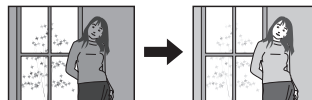
3. 【▲】【▼】で露出補正値を選び、【SET】を押します。

- これで露出補正値が設定されました。



露出補正表示

【▲】: 上方向に補正されます。白い物の撮影や逆光での撮影のときに押します。



【▼】: 下方向に補正されます。黒い物の撮影や晴天の野外などのときに押します。



- 露出補正値をもとに戻したいときは、反対方向に露出補正して“0.0”に合わせてください。

4. 撮影します。

重要! • 明るすぎたり、暗すぎたりするときは、露出補正ができない場合があります。

参考 • EVシフトを行うと、測光方式が自動的に中央重点測光(中央部を重点的に測光します)に切り替わります。EVシフトを“0.0”に戻すとマルチパターン測光(画面全体を分割し、それぞれのエリアの測光データを元に露出を決めます)に戻ります。
• キースタマイズ機能を使うと、【◀】【▶】で露出値が補正できるように切り替えられます(60ページ)。

ホワイトバランスを変える

被写体は、太陽光や電球の光など光源の波長によって色味が異なっています。ホワイトバランスとは、被写体を自然な色合いで撮影できるように白を基準に色味を調整することです。

1. RECモードにして[MENU]を押します。

2. “撮影設定”タブ→“ホワイトバランス”を選び、[▶]を押します。



3. [▲][▼]で設定内容を選び、[SET]を押します。

オート：自動的にホワイトバランスを調整します。

(太陽光)：屋外での撮影時

(日陰)：日陰で青みがかるとき

(電球)：電球下で赤みがかるとき

(蛍光灯)：蛍光灯下で緑がかるとき

マニュアル：現在の光源に合わせて手動で設定します。詳しくは「マニュアルホワイトバランスの設定」(50ページ)を参照してください。

- 参考
- ・「マニュアル」を選ぶと、前回マニュアルホワイトバランスを設定した際の値に設定されます。
 - ・キーカスタマイズ機能を使うと、[▲][▶]でホワイトバランスが変更できるように切り替えられます(60ページ)。

マニュアルホワイトバランスの設定

ホワイトバランスの「オート」では光源によって自動調整の処理に時間がかかったり、調整できる範囲(色温度)に限界があります。マニュアルホワイトバランスを使うと、さまざまな光源下で適正な色に調整することができます。マニュアルホワイトバランスの設定は、白い紙などを画面一杯に写した状態で行ってください。

1. RECモードにして[MENU]を押します。

2. “撮影設定”タブ→“ホワイトバランス”を選び、[▶]を押します。

3. [▲][▼]で“マニュアル”を選びます。

- ・[液晶モニター]には、前回調整したバランスで被写体が表示されます。



4. 画面全体に白い紙などを写した状態で[シャッター]を押します。

- ・“完了”と表示されたらホワイトバランスの調整は完了です。
- ・暗い所や色の濃いものでホワイトバランスを調整すると時間がかかります。

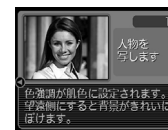
5. [SET]を押します。

- ・ホワイトバランスを決定し、撮影ができる画面に戻ります。

さまざまなシーンを選んで撮影する(ベストショットモード)

21種類のシーンの中から撮影したいシーンを選ぶと、自動的にそのシーンに最適な設定になります。

■シーンのサンプル画像例



1. RECモードにして[MENU]を押します。

2. “撮影設定”タブ→“撮影モード”を選び、[▶]を押します。

3. [▲][▼]で“ES”(ベストショット)を選び、[SET]を押します。

- ・ベストショットモードになり、シーンのサンプル画像が表示されます。



4. [◀][▶]で撮影したいシーンを選び、[SET]を押します。

5. 撮影します。

- 重要!
- ・No.4のシーンについては「カップリングショット」(53ページ)、No.5のシーンについては「プリショット」(54ページ)をご覧ください。
 - ・シーンに使用されているサンプル画像は本機で撮影されたものではありません。イメージ画像です。
 - ・被写体の条件によっては、十分な効果が得られなかったり、正しく撮影されない場合があります。
 - ・シーンを選んだ後から[SET]を押すことにより、シーンを選び直すことができます。

撮影したいシーンを登録する(カスタム登録)

今まで撮影した画像の設定内容をベストショットモードに読み込んで、呼び出すことができます。呼び出した画像の設定内容と同じ設定で撮影することができます。

1. RECモードにして[MENU]を押します。

2. “撮影設定”タブ→“撮影モード”を選び、[▶]を押します。

3. [▲][▼]で“ES”(ベストショット)を選び、[SET]を押します。

- ・シーンのサンプル画像が表示されます。

4. [◀][▶]を押して“好きな画像を登録します”を表示させます。



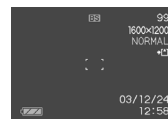
5. [SET]を押します。

6. [◀][▶]を押して読み込む画像を選びます。



7. [▲][▼]で“登録”を選び、[SET]を押します。

- ・登録が完了します。
- ・撮影できる状態になります。以降、50ページと同じ操作により、この設定を選んで撮影することができます。



- 重要!
- ・デジタルカメラでは、本機内蔵のシーンのあとに「マイベストショット(カスタム登録したシーン)」の順番でシーンが登録されます。
 - ・内蔵メモリーをフォーマット(88ページ)すると、カスタム登録したベストショットモードのシーンファイルは消えてしまいますので、その場合は必要に応じてカスタム登録し直してください。

- 参考
- ・登録される設定内容は下記の通りです。フォーカスモード、EVシフト、ホワイトバランス、フラッシュモード、ISO感度
 - ・本機で撮影された画像からのみ設定内容を読み取ることができます。
 - ・登録可能件数は最大999件となります。
 - ・各シーンの設定状態はメニューをたどり、各機能の設定内容を表示させることにより、確認できます。
 - ・カスタム登録したシーンのファイル名は「UEXZ3nnn.jpg (n=0~9)」となります。
 - ・カスタム登録したシーンを消去したい場合は、ベストショットモードでシーンを選ぶときに、カスタム登録したシーンを表示させ、[▼][🗑️]を押して削除するか、パソコンを使って内蔵メモリー内の「Scene」フォルダ内から消去したいシーンのファイルを削除してください(103ページ)。

二人で記念撮影をする(カップリングショット)

一面を2つに分けて2回撮影し、その後自動合成して1枚の画像にする機能です。他の人に撮影を頼むことができないときでも、全員揃って記念撮影できます。この機能はベストショットモード(50ページ)の中にあります。

- 最初の撮影
撮影者以外を撮影する。



- 最終的な撮影
背景の重なり具合を確認しながら撮影者のみを撮影する。



- 合成



- RECモードにして[MENU]を押します。
- “撮影設定”タブ→“撮影モード”と選び、[▶]を押します。
- [▲][▼]で“[B]” (ベストショット)を選び、[SET]を押します。
- [◀][▶]で“カップリングショット”のシーンを選び、[SET]を押します。
- 最初に【液晶モニター】で【フォーカスフレーム】を左側部分の被写体に合わせて撮影します。
 - この撮影で下記の情報が固定されます。
フォーカス、露出、ホワイトバランス、ズーム、フラッシュ



【フォーカスフレーム】

53

- 次に、【液晶モニター】上で半透明で表示されている左側部分と、現在の背景を正しく重なるようにフレームを合わせ、右側部分を撮影します。
 - 【MENU】を押すと、この撮影をキャンセルし、操作5に戻ることができます。



半透明の画像

好みの構図で記念撮影をする(プリショット)

プリショット機能は人に撮影を依頼するときに便利な機能です。この機能では一度の撮影で2回の撮影を行います。1回目の撮影で撮影画像を半透明の状態に【液晶モニター】上に表示し、2回目では表示されている半透明の画像を目安に最終的な撮影を行います。2回目に撮影した画像が記録されます。この機能はベストショットモード(50ページ)の中にあります。

- 好みの構図を自分で撮影



- 構図に合わせて他の人に撮影してもらおう



- 2回目的の画像が記録される



54

- RECモードにして[MENU]を押します。
 - “撮影設定”タブ→“撮影モード”と選び、[▶]を押します。
 - [▲][▼]で“[B]” (ベストショット)を選び、[SET]を押します。
 - [◀][▶]で“プリショット”のシーンを選び、[SET]を押します。
-
- 1回目は自分で撮影します。その結果に合わせて、2回目を他の人に撮影してもらいます。
- 最初に仮撮影を行います。
 - この操作で撮影した画像は操作6で半透明で表示されますが、最終的にはカメラに保存されません。
 - この撮影で下記の情報が固定されます。
フォーカス、露出、ホワイトバランス、ズーム、フラッシュ

- 次に、【液晶モニター】上で半透明で表示されている背景と、現在の背景を正しく重なるようにフレームを合わせて撮影します。
 - この操作で撮影した画像がカメラに保存されます。
 - 【MENU】を押すと、この撮影をキャンセルし、操作5に戻ることができます。



半透明の画像

55

動画を撮影する(ムービーモード)

一度に最大30秒まで音声つき動画を撮影することができます。



- ファイル形式：AVI形式
AVI形式は、Open DML グループが提唱したMotion JPEG フォーマットに準拠しています。
- 画像サイズ：320×240pixels
- 動画ファイルサイズ：約130KB/秒
- 撮影可能なムービーの時間：
 - 一度に撮影可能な最長時間：30秒
 - 撮影可能なトータル時間：内蔵メモリーで最長約1分20秒、64MBのSDメモリーカードで最長約8分20秒

- RECモードにして[MENU]を押します。
 - “撮影設定”タブ→“撮影モード”と選び、[▶]を押します。
 - [▲][▼]で“[M]” (ムービー)を選び、[SET]を押します。
 - 「残りセット数」は、30秒の動画をあと何回撮影できるかを示しています。
-
- 撮影する被写体にカメラを向け、[シャッター]を押します。
 - 30秒間、動画撮影が続きます。
 - 動画撮影中は【液晶モニター】に「残り撮影時間」を表示します。
 - 動画撮影中は光学ズームは動作しません。デジタルズームのみ使用できます。【シャッター】を押す前ですと、光学ズームは使用できます。
 - 動画撮影を30秒以内で終了させたいときは、もう一度【シャッター】を押してください。
-

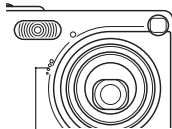
56

5. 動画撮影が終了したら、動画ファイルがカメラのメモリーに保存されます。

- 動画ファイルの保存を中止したいときは、保存中に[▼]を押した後、“消去”を選び、[SET]を押してください。

重要!

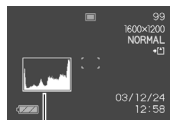
- フラッシュは発光しません。
- 本機では音声も同時に記録されますので、次の点に注意してください。
 - 指などで【マイク】をふさがないようにご注意ください。
 - 録音の対象がカメラから速く離れると、きれいに録音されません。
 - 撮影中にボタン操作をすると、操作音が入ることがあります。
 - 音声はモノラルで録音されます。
 - フォーカスモード(49ページ)をオートフォーカスモードがマクロモード(●)にすると、自動的にピント調整を行います。その際に「カタカタ」という動作音が入ります。ピント調整音が気になる場合は、あらかじめマニュアルフォーカスモード(MF)にてピントを調整したうえで、撮影することをおすすめします。
 - フォーカスモードをマニュアルフォーカスモード(MF)が無制限モード(∞)にすると「カタカタ」という動作音は入りません。ただし、マニュアルフォーカスモードでは撮影中のピント調整ができなくなりますので、撮影前にピントを合わせてください。



【マイク】

ヒストグラムを活用する

[DISP]を押して【液晶モニター】上にヒストグラムを表示させることにより、露出をチェックしながら撮影することができます(20ページ)。再生モードでは撮影された画像のヒストグラムを見ることができます。



ヒストグラム

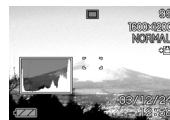
ヒストグラム(輝度成分分布表)とは、画像の明るさのレベルをピクセル数によりグラフ化したものです。縦軸がピクセル数、横軸が明るさを表します。ヒストグラムを見ると、補正するために十分な画像のディテールが画像のシャドウ(左側)、中間調(中央部分)、ハイライト(右側)に含まれているかどうかを確認することができます。もしもヒストグラムが片寄っていた場合は、EVシフト(露出補正)を行うと、ヒストグラムを左右に移動させることができます。なるべくグラフが中央に寄るよう補正することによって、適正露出に近づけることができます。

57

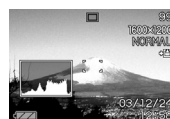
- ヒストグラムが左の方に寄っている場合は、暗いピクセルが多いことを示しています。全体的に暗い画像はこのようなヒストグラムになります。また、あまり左に寄り過ぎてしまうと、黒つぶれを起こしている可能性もあります。



- ヒストグラムが右の方に寄っている場合は、明るいピクセルが多いことを示しています。全体的に明るい画像はこのようなヒストグラムになります。また、あまり右に寄り過ぎてしまうと、白飛びを起こしている可能性もあります。



- ヒストグラムが中央に寄っている場合、明るいピクセルから暗いピクセルまで適度に分布していることを示しています。全体的に適度な明るさの画像はこのようなヒストグラムになります。



重要!

- 前記のヒストグラムはあくまでも例であり、被写体によってはヒストグラムの形が例のようにならない場合もあります。
- 撮影したい画像を意図的に露出オーバーやアンダーにする場合もあるので、必ずしも中央に寄ったヒストグラムが適正となる訳ではありません。
- 露出補正には限界がありますので、調整しきれない場合があります。
- フラッシュ撮影による撮影など、撮影したときの状況によっては、ヒストグラムによりチェックした露出とは異なる露出で撮影される場合があります。
- カップリングショット撮影時(53ページ)は、ヒストグラムは表示されません。

58

各種機能を設定する

ISO感度を変える

ISO感度が変更できます。使用目的に応じてISO感度を設定してください。

- RECモードにして[MENU]を押します。
- “撮影設定”タブ→“ISO感度”と選び、[▶]を押します。
- 設定内容を選び[SET]を押します。
 - オート : 撮影条件により自動調整します。
 - ISO 50 : ISO 50相当
 - ISO 100 : ISO 100相当
 - ISO 200 : ISO 200相当

- 重要!**
- ISO感度を上げると画像のノイズが増加します。使用目的に応じてISO感度を設定してください。
 - ISO感度を上げてフラッシュ撮影すると、近くの被写体の明るさが、適正にならない場合があります。

撮影した画像を確認する(撮影レビュー)

撮影した直後に【液晶モニター】で撮影した画像を確認することができます。

- RECモードにして[MENU]を押します。
- “撮影設定”タブ→“撮影レビュー”と選び、[▶]を押します。
- [▲][▼]で設定項目を選び、[SET]を押します。

入: 撮影直後に【液晶モニター】に撮影した画像が約1秒間表示されます。

切: 撮影した画像は表示されません。

59

左右キーに機能を割り当てる(キーカスタマイズ)

[◀][▶]に、5つの中のどれか1つの機能の操作に割り当てることにより、操作しやすくなります。

- RECモードにして[MENU]を押します。
- “撮影設定”タブ→“左右キー設定”と選び、[▶]を押します。
- [▲][▼]で設定内容を選び、[SET]を押します。

- [◀][▶]で設定した機能が操作できるようになります。

撮影モード : 撮影モード(静止画/ベストショット/ムービー)が変更できます(117ページ)。
EVシフト : 露出値(EV値)が補正できます(47ページ)。

ホワイトバランス : ホワイトバランスが変更できます(49ページ)。

ISO感度 : ISO感度の変更ができます(59ページ)。
セルフタイマー : セルフタイマーの設定ができます(41ページ)。

切 : [◀][▶]に操作を割り当てません。

- 参考**
- 初期設定は“撮影モード”の操作となります。

60

各種設定を記憶させる(モードメモリ)

モードメモリとは、電源を切ったときでも直前の状態を記憶しておく機能です。電源の入/切で毎回設定をし直す手間がはぶけます。

●モードメモリで設定できる機能

撮影モード、フラッシュ、フォーカス方式、ホワイトバランス、ISO感度、デジタルズーム、MF位置

- RECモードにして[MENU]を押します。
- “モードメモリ”タブ→“設定したい機能”と選び、[▶]を押します。
- [▲][▼]で設定内容を選び、[SET]を押します。
 - 入: 電源を切ったときにその時点の設定を記憶します。
 - 切: 電源を切ったときに初期設定に戻ります。

機能	入	切
撮影モード		静止画
フラッシュ		オート
フォーカス方式		オート
ホワイトバランス	最後のモード	オート
ISO感度		オート
デジタルズーム		入
MF位置		MFに切り替える前の位置

- 重要!** ● ベストショットモードでは、シーンの選択をしたり、【モードスイッチ】を切り替えたり、電源のオン/オフを行うと、モードメモリが入/切のどちらに設定されているか、撮影設定(フラッシュ、ホワイトバランス、ISO感度)は各シーンの初期設定値となります。
- ムービーモードでは、モードメモリの入/切の設定に関わらず、フラッシュは常に発光禁止に設定されます。

各種設定をリセットする

本機の設定内容を初期値に戻すことができます。初期値については「メニュー一覧表」(117ページ)をご覧ください。

- RECモードまたはPLAYモードで【MENU】を押します。
- “設定”タブ→“リセット”を選び【▶】を押します。
- “リセット”を選び【SET】を押します。
 - リセットしない場合は“キャンセル”を選びます。

61

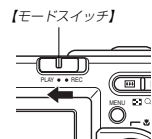
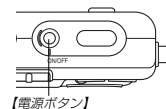
再生する

本機は【液晶モニター】を備えていますので、記録されているファイルを本機だけで確認することができます。

基本的な再生のしかた

記録されているファイルを順次送ったり戻したりしながら見ることができます。

- 【電源ボタン】を押して、電源を入れます。
 - 【液晶モニター】に画像またはメッセージが表示されます。
- 【モードスイッチ】を“PLAY”に合わせます。
 - PLAYモードになり、再生できる状態になります。



- 【◀】【▶】でファイルを見ていきます。



- 【▶】を押す：進みます。
【◀】を押す：戻ります。

参考

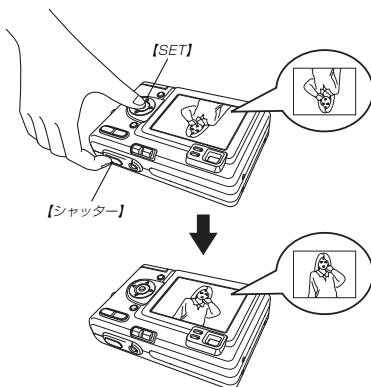
- 【◀】【▶】を押し続けると、ファイルは早送りされます。
- 初めに表示される画像は簡易画像のため、粗い表示になっていますが、すぐ後に精細な画像が表示されます。ただし、他のデジタルカメラからコピーした画像は、この限りではありません。

62

再生する

反転表示させる

表示している画像を180°反転させることができます。画像を他人に見せるときなどに便利です。



- PLAYモードにして【◀】【▶】で画像を表示させます。
- 【シャッター】と【SET】を同時に押します。
 - 画像が180°反転します。このときは情報表示やヒストグラム等の表示は消え、画像のみの表示となります。
 - 【◀】【▶】で画像の送り、戻しができます。
- 【▲】【▼】【◀】【▶】以外のボタンを押すと、もとの状態に戻ります。

- 重要!** ● 反転表示中は動画は表示されません。
● 拡大表示、9画面表示、カレンダー表示、動画再生中は反転表示はできません。

63

再生する

画像を拡大して表示する

撮影した画像を4倍まで拡大して表示させることができます。

- PLAYモードにして、【◀】【▶】で拡大したい画像を表示させます。
- 【ズームボタン】の“Q”側を押して拡大します。
 - 【液晶モニター】に現在の倍率が表示されます。
 - 【DISP】を押すと倍率などの表示のオン/オフができます。
- 【▲】【▼】【◀】【▶】で拡大した画像を上下左右にスクロールすることができます。
- 【MENU】を押すと、画像は元の大きさに戻ります。



- 重要!** ● 動画は拡大表示できません。
● 画像のサイズにより、4倍までの拡大表示ができない画像があります。

64

画像サイズを変える(リサイズ)

撮影した静止画像のサイズを、次の2種類のサイズに変えることができます。

1280×960pixelsのSXGAサイズ
640×480pixelsのVGAサイズ

- VGAサイズの画像は、メールに添付する画像やホームページに貼り付ける画像に最適です。

- PLAYモードにして【MENU】を押します。
- “再生機能”タブ→“リサイズ”を選び、【▶】を押します。



- 【◀】【▶】でサイズを変えたい画像を表示させます。
- 【▲】【▼】でリサイズ内容を選び、【SET】を押します。
 - 1280×960 : 1280×960pixelsのSXGAサイズに変えます。
 - 640×480 : 640×480pixelsのVGAサイズに変えます。
 - キャンセル : リサイズを中止します。

重要! リサイズした画像は、リサイズする前の画像とは別に最新ファイルとして保存されます。

- 画像サイズが640×480pixels以下の画像はリサイズできません。
- このカメラで撮影した画像以外の画像は、リサイズできません。
- “このファイルではこの機能は使用できません”と表示された場合は、リサイズできません。
- リサイズした画像を保存できるだけメモリー容量が残っていない場合は、リサイズできません。
- リサイズ画像をカメラで表示した場合は、リサイズを実行した日時が表示されますが、EXIF情報*の日付情報は撮影時のまま保持されています。
※ EXIF情報には撮影時の状況が記録されています(110ページ)。

画像の一部を切り抜く(トリミング)

拡大した画像から必要な箇所を切り抜いて、メールに添付する画像やホームページに貼り付ける画像などの構図を整えることができます。

1. **PLAYモード**にして、**[◀][▶]**でサイズを変えたい画像を表示させます。
2. **[MENU]**を押します。
3. “再生機能”タブ→“トリミング”を選び、**[▶]**を押します。
 - 画面に画像を切り抜くための枠が表示されます。
4. **[ズームボタン]**を押して、枠の拡大/縮小をします。
 - 表示されている画像のサイズによって、トリミングできる枠の大きさが変わります。
5. **[▲][▼][◀][▶]**で切り抜きたい部分を枠で囲みます。
6. **[SET]**を押します。
 - トリミングを中止する場合は**[MENU]**を押します。



重要! トリミングした画像は最新ファイルとして保存されます。

- 画像サイズが小さいほどトリミングできる枠の大きさが限定されます。
- 画像サイズが640×480pixelsの画像では、枠は拡大/縮小できません。
- トリミングしても、トリミングする前の画像は残っています。
- ムービーモードで撮影した画像はトリミングできません。このカメラで撮影した画像以外の画像は、トリミングできません。
- “このファイルではこの機能は使用できません”と表示された場合は、トリミングできません。
- トリミングした画像を保存できるメモリー容量が残っていない場合は、トリミングできません。
- トリミング画像をカメラで表示した場合は、トリミングを実行した日時が表示されますが、EXIF情報*の日付情報は撮影時のまま保持されています。
※ EXIF情報には撮影時の状況が記録されています(110ページ)。

動画を再生する

ムービーモードで撮影した動画を再生することができます。

1. **PLAYモード**にして、**[◀][▶]**で再生したい動画を表示させます。



2. **[SET]**を押します。

- 動画が再生されます。
- 動画再生中に、次のような操作ができます。
 - 早戻し/早送りする **[◀][▶]**を押し続ける
 - 再生と一時停止を切り替える **[SET]**を押す
 - 一時停止中にコマ送りする **[◀][▶]**を押す
 - 再生を中断する **[MENU]**を押す

重要! ● 動画を連続して再生することはできません。再度再生したいときは、もう一度、上の操作を行ってください。
● 動画の音声はカメラで再生することはできません。音声を再生したいときは、動画ファイルをパソコンで再生してください(93ページ)。

1つの画面に9つの画像を表示する

撮影した内容を9つまで同時に一覧表示させることができます。

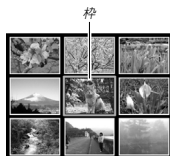
1. **PLAYモード**にします。
 2. **[ズームボタン]**の“**Q**”側を押します。
 - 9つの画像が表示され、最初に表示されていた画像は、枠が付いた状態で中央に表示されます。
 - 画像の総数が9枚以下の場合は、左上から順に画像が表示されます。枠は1枚目の画像に付きます。
 - **[◀]**または**[▶]**を押して、枠が画面の左端、または右端まで行くと、次の9枚を表示します。
 - **[ズームボタン]**の“**Q**”側を2回押すとカレンダー表示(68ページ)になります。
- 例：画像の総数が20枚で、1番目の画像を最初に表示していた場合

17	18	19	→	6	7	8	→	15	16	17
20	1	2	→	9	10	11	→	18	19	20
3	4	5	←	12	13	14	←	1	2	3

3. **[▲][▼][◀][▶]**で画像を見ていきます。
4. **[▲][▼][◀][▶]**以外のボタンを押すと9画面表示は終了します。

目当ての画像を素早く表示する

1. 9画面表示に切り替えます。
2. **[▲][▼][◀][▶]**で目当ての画像に枠を移動します。



3. **[▲][▼][◀][▶]**以外のボタンを押します。
 - 目当ての画像が1枚で表示されます。



カレンダー表示をする

1ヶ月分のカレンダー表示の日付上に、その日に撮影した最初の画像を表示させることができ、見たい画像を素早く探すことができます。

1. **PLAYモード**にして**[ズームボタン]**の“**Q**”側を2回押します。
 - **[MENU]**を押してから、“再生機能”タブ→“カレンダー表示”を選び、**[▶]**を押してもカレンダー表示になります。
2. **[▲][▼][◀][▶]**で目当ての画像に枠を移動します。
 - 年/月の表示は“表示スタイル”の設定(86ページ)に従って表示されます。
 - 各日付上にその日に撮影した最初の画像が表示されます。
 - 枠が上端にあるとき**[▲]**を押すと前の月の画面に移ります。
 - 枠が下端にあるとき**[▼]**を押すと次の月の画面に移ります。
 - カレンダー表示を終えるには**[MENU]**または**[ズームボタン]**の“**Q**”側を押します。
 - このカメラで表示できないデータの場合は**[Q]**が表示されます。
3. 見たい画像に枠を移動させたら、**[SET]**を押します。
 - その日に撮影した最初の画像が表示されます。



画像を自動的にページめくりさせる(スライドショー)

撮影した内容を自動的に次々とページめくりさせる機能(スライドショー)です。ページめくりの間隔を設定することもできます。



1. **PLAYモード**にして**[MENU]**を押します。
2. “再生機能”タブ→“スライドショー”を選び、**[▶]**を押します。
3. 各設定項目を設定します。各設定方法については、下記をご覧ください。
 - 表示画像 「表示画像の設定」(69ページ)
 - 時間 「時間の設定」(70ページ)
 - 間隔 「間隔の設定」(70ページ)
4. “開始”を選び**[SET]**を押します。
5. 何かキーを押すとスライドショーが終了します。
 - “時間”で設定した時間が経過すると自動的に終了します。

重要! 画面の切り替え中はボタン操作が効かなくなります。画面が静止している時にボタン操作をしてください。ボタンが効かない場合はしばらくボタンを押し続けてください。

パソコンからコピーした画像や、他のデジタルカメラの画像では、設定した間隔より長くなる場合があります。

表示画像の設定

1. [▲][▼]で“表示画像”を選び[▶]を押します。
2. [▲][▼]で表示内容を選び[SET]を押します。
全画像 : メモリー内にある全ての画像を表示します。
1枚画像 : 画像を一枚のみ選んで表示します。
お気に入り : お気に入りフォルダ(103ページ)にある画像を表示します。
3. “開始”を選び[SET]を押します。
• スライドショーが始まります。

■ 1枚画像について

“1枚画像”では一枚のみ画像を選んで表示することができます。フォトスタンド機能(71ページ)で画像を一枚のみ表示させたい場合に使用します。

“1枚画像”は下記のように選びます。

1. “1枚画像”を選び[▶]を押します。
2. [◀][▶]で目的の画像を表示させます。

3. [SET]を押すと、設定を確認してメニュー画面に戻ります。
• [MENU]を押すと設定をキャンセルしてメニュー画面に戻ります。



時間の設定

1. [▲][▼]で“時間”を選びます。
2. [◀][▶]で再生したい時間を選び[SET]を押します。
• 時間は1~60分の間で指定できます。
3. “開始”を選び[SET]を押します。
• スライドショーが始まります。

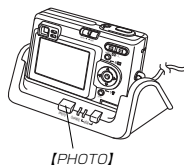
間隔の設定

1. [▲][▼]で“間隔”を選びます。
2. [◀][▶]でスライドショーの間隔を選び[SET]を押します。
• 間隔は“最速”と1~30秒の間で指定できます。
• 動画の場合は、指定した間隔に関わらずに1回再生します。ただし、“最速”では、先頭のコマのみを再生します。
3. “開始”を選び[SET]を押します。
• スライドショーが始まります。

USBクレードルにセットしたままスライドショーさせる(フォトスタンド機能)

カメラをUSBクレードルにセットしたままスライドショーができます。電池の消耗を気にせずに、フォトスタンドのように画像を見ることができます。フォトスタンド機能はスライドショーの設定にしたがって表示します。あらかじめスライドショーの設定を行ってください(68ページ)。

1. カメラをUSBクレードルにセットします。
• カメラの電源を入れたまま、USBクレードルの上にセットしないでください。
2. USBクレードルの[PHOTO]を押します。
• スライドショーが始まります。
• [MENU]を押すと、スライドショーの各設定項目が設定できます。スライドショーを再開するには、メニュー表示中に[MENU]を押すか、“開始”を選んで[SET]を押してください。
3. [PHOTO]を押すとスライドショーが終了します。



[PHOTO]

重要! スライドショー中は電池の充電ができません。充電する場合はスライドショーを終了してください。

回転表示させる

画像の回転情報(向き)を画像ファイルに書き込むことができます。再生時には回転情報をもとに画像を表示することができます。スライドショーでの表示のみに有効です。縦置きで撮影した画像や、回転させたい画像に使用すると便利です。

1. PLAYモードにして[MENU]を押します。
2. “再生機能”タブ→“回転表示”と選び、[▶]を押します。
3. [◀][▶]で回転させたい画像を表示させます。
4. “回転”を選び[SET]を押します。
• “回転”を選んだ状態で[SET]を押すたびに90°ごとに右まわりに回転します。
5. [MENU]を押して設定を終了します。



重要! メモリープロテクトをかけたファイルは、回転することはできません。メモリープロテクトを解除してから操作してください。

消去する

ファイルを消去する方法には次の2つの方法があります。

- 1ファイル : ファイルを1ファイルずつ消去する。
- 全ファイル : すべてのファイルを消去する。

- 重要!** 一度消去してしまった記録内容は、二度と元に戻すことはできません。消去の操作を行う際は、本当に不要なファイルかどうかをよく確かめてから行ってください。特に全ファイル消去の操作では、記録したすべての内容を一度に消去してしまいますので、内容をよく確かめてから操作してください。
- メモリープロテクトのかかったファイルは消去できません。メモリープロテクトを解除してから操作してください(75ページ)。
 - すべてのファイルがメモリープロテクト(75ページ)されている状態では、消去は実行できません。

1ファイルずつ消去する

表示されているファイルを1ファイルずつ消去することができます。

1. PLAYモードにして[▼] (4倍)を押します。
2. [◀][▶]で消去したいファイルを表示させます。
3. [▲][▼]で“消去”を選びます。
• 消去を中止したいときは、“キャンセル”を選んでください。
4. [SET]を押して、表示しているファイルを消去します。
• 手順2~4を繰り返して、他のファイルを消去することができます。
5. [MENU]を押して、消去操作を終了します。

重要! 消去できないファイルを消去しようとすると、“このファイルではこの機能は使用できません”と表示されます。

全ファイルを消去する

すべてのファイルを消去することができます。

1. PLAYモードにして[▼]([🔍])を押します。
2. [▲][▼]で“全ファイル消去”を選び、[SET]を押します。
3. [▲][▼]で“はい”を選びます。
 - 消去を中止したいときは、“いいえ”を選んでください。
4. [SET]を押して、すべてのファイルを消去します。

ファイルの管理について

本機では画像の撮影や再生の他、画像プリント時の枚数指定等やファイルの消去防止の設定ができます。

フォルダの分類について

本機は内蔵フラッシュメモリーやメモリーカード内に、フォルダ(ディレクトリ)を自動的に作成します。

メモリー内のフォルダ/ファイルについて

撮影した画像は連番を名前としたフォルダの中に自動的に記録されます。フォルダは最大900作成されます。フォルダ名は次の通りです。

例：連番100のフォルダ名

```

100CASIO
├──
└── 連番(3桁)
  
```

各フォルダには最大9,999番までのファイルが登録できます。10,000枚以上撮影した場合は、次の連番のフォルダが自動的に作成されます。ファイル名は次の通りです。

例：26番目に記録したファイル名

```

CIMG0026.JPG
├── 拡張子
└── 連番(4桁)
  
```

- 保存できるフォルダ数、ファイル数は画質やメモリーカードの容量によって異なります。
- 詳しいディレクトリ構造に関しては「メモリー内のディレクトリ構造」(103ページ)をご覧ください。

ファイルの管理について

記録したファイルにメモリープロテクト(消去防止)をかける

大事なファイルを誤って消去してしまうことを防止する機能(メモリープロテクト)がついています。メモリープロテクトをかけたファイルは、消去操作(72ページ)により消去することはできません。メモリープロテクトのかけかたには、1ファイル単位、全ファイルの2通りがあります。

1ファイル単位でメモリープロテクトをかける

1. PLAYモードにして[MENU]を押します。
2. “再生機能”タブ→“プロテクト”と選び、[▶]を押します。



3. [◀][▶]でメモリープロテクトをかけたいファイルを表示させます。

4. [▲][▼]で“オン”を選び、[SET]を押します。

- メモリープロテクトがかかり、[▶]が画面面上に表示されます。
- メモリープロテクトを解除するときは、“オフ”を選んでください。



5. [MENU]を押して、メモリープロテクトを終了します。

ファイルの管理について

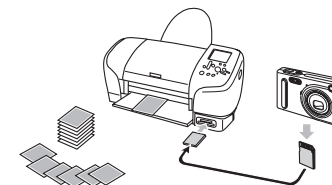
全ファイルにメモリープロテクトをかける

1. PLAYモードにして[MENU]を押します。
2. “再生機能”タブ→“プロテクト”と選び、[▶]を押します。
3. [▲][▼]で“全ファイル オン”を選び、[SET]を押します。
 - メモリープロテクトを解除するときは、“全ファイル オフ”を選んでください。
4. [MENU]を押して、メモリープロテクトを終了します。

DPOF機能について

DPOF(Digital Print Order Format)とはデジタルカメラで撮影した中からプリントしたい画像や枚数などの設定情報をメモリーカードなどの記録媒体に記録するためのフォーマットです。DPOF対応の家庭用プリンターやサービスラボでプリントすることができます。本機では撮影された画像ファイル名などを意識することなく、【液晶モニター】で確認しながらプリントしたい画像の設定を行うことができます。

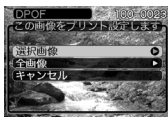
- 設定可能な内容
画像/枚数/日付



1 画像単位で印刷設定を行う

1. PLAYモードにして[MENU]を押します。

2. “再生機能”タブ→“DPOF”
と選び、[▶]を押します。



3. [▲][▼]で“選択画像”を選び、[▶]を押します。

4. [◀][▶]で印刷したい画像
を表示させます。



5. [▲][▼]で印刷する枚数を決めます。

- 印刷設定できる枚数は99枚までです。印刷したくない場合は“00”にしてください。

6. 日付を印刷したい場合は[DISP]を押して[日]を表示させます。

- 日付が不要なときは、[DISP]を押して[日]を消してください。
- 他の画像を印刷する場合は、操作4～6をくり返してください。

7. [SET]を押します。

全画像に印刷設定を行う

1. PLAYモードにして[MENU]を押します。

2. “再生機能”タブ→“DPOF”と選び、[▶]を押します。

3. [▲][▼]で“全画像”を選び、[▶]を押します。

4. [▲][▼]で印刷する枚数を決めます。

- 印刷設定できる枚数は99枚までです。印刷したくない場合は“00”にしてください。



5. 日付を印刷したい場合は[DISP]を押して[日]を表示させます。

- 日付が不要なときは、[DISP]を押して[日]を消してください。

6. [SET]を押します。

PRINT Image Matching IIについて

本製品はPRINT Image Matching IIに対応しています。PRINT Image Matching II対応プリンタでの出力及び対応ソフトウェアでの画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。

PRINT Image Matching及びPRINT Image Matching IIに関する著作権はセイコーエプソン株式会社が所有しています。



Exif Printについて

Exif Print (Exif2.2) は、対応プリンタをお使いの場合に画像ファイルに記録された撮影情報を印刷出力に反映させることが可能です。



重要! 対応プリンタの機種名やプリンタのバージョンアップ等については、各プリンタメーカーへお問い合わせください。

USB DIRECT - PRINTについて

本製品はセイコーエプソン株式会社提携のUSB DIRECT - PRINTに対応しています。本製品はUSB DIRECT - PRINT対応プリンタに直接接続し、デジタルカメラのモニタ上で写真選択や印刷開始を指示することができます。

DPOF機能(76ページ)にて登録した情報をもとに、本機をUSB DIRECT - PRINT対応プリンタにUSBクレードルを介して接続するだけで、印刷することができます。



1. DPOF機能(76ページ)で、印刷したい画像をあらかじめ指定します。

2. USBクレードルとプリンタを接続します。



- USBクレードルにはACアダプターも接続しておいてください。

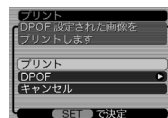
3. カメラをUSBクレードルにセットします。

4. プリンタの電源を入れます。

5. プリンタの印刷用紙をセットします。

6. USBクレードルの[USB]
ボタンを押します。

- カメラにプリントメニューが表示されます。



7. カメラのプリントメニューから“プリント”を選び、[SET]を押します。

- DPOF機能で指定した画像が自動的に印刷されます。
- もう一度印刷する場合は、[USB]ボタンを押し直してください。
- DPOFの設定をしていない場合はメッセージが表示され、DPOFの設定画面(76ページ)が表示されます。このときは、DPOFの設定を行ってから、もう一度プリントの操作を行ってください。
- カメラのプリントメニューで“DPOF”を選び、[SET]を押すとDPOFの設定ができます(76ページ)。

8. 印刷が終了したら電源が切れます。カメラをUSBクレードルから外します。

- 重要!**
- 印刷品位や用紙の設定についてはプリンタの取扱説明書をご覧ください。
 - 対応プリンタの機種名やプリンタのバージョンアップ等については、プリンタメーカーへお問い合わせください。
 - 印刷中はケーブルを抜いたり、カメラやクレードルの操作を行わないでください。プリンタがエラーを起すことがあります。
 - 印刷を中止したいときは、プリンタ側で操作してください。

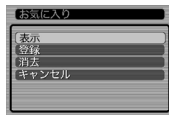
お気に入りフォルダの使いかた

記録した思い出の風景や家族の写真など好きな静止画を「記録フォルダ」(103ページ)から内蔵メモリーの「お気に入りフォルダ」(「FAVORITE」フォルダ)(103ページ)にコピーすることができます。通常の再生では表示されないで、プライベートな画像を持ち歩くのに便利です。メモリーカードを入れ替えても画像は消えませんので、いつでも見ることができます。

お気に入りフォルダにファイルをコピー(登録)する

1. PLAYモードにして[MENU]を押します。

2. “再生機能”タブ→“お気に入り”を選び、[▶]を押します。



3. [▲][▼]で“登録”を選び、[SET]を押します。

- 内蔵メモリーまたはメモリーカード内のファイル名が表示されます。



4. [◀][▶]で、お気に入りフォルダに登録したいファイルを選びます。

5. [▲][▼]で“登録”を選び、[SET]を押します。

- 内蔵メモリー内のお気に入りフォルダにファイルを登録します。

6. 設定を終えるには[▲][▼]で“キャンセル”を選び、[SET]を押します。

参考

- 画像は、320×240pixelsのQVGAサイズにリサイズしてコピーされます。
- 登録したファイルには、連番(0001～9999)がファイル名として自動的に付けられます。ただし、登録できるファイル数は画質等により異なり、内蔵メモリーの空き容量の範囲内となります。

重要!

- お気に入りフォルダにリサイズしてコピーされたファイルは、元の画像サイズに戻すことはできません。

81

お気に入りフォルダのファイルを表示する

1. PLAYモードにして[MENU]を押します。

2. “再生機能”タブ→“お気に入り”を選び、[▶]を押します。

3. [▲][▼]で“表示”を選び、[SET]を押します。

4. [◀][▶]で、お気に入りフォルダに登録したファイルを見ていきます。

[▶]を押す：進みます。

[◀]を押す：戻ります。



5. 表示を終えるには[MENU]を2回押します。

参考

- [◀][▶]を押し続けると、画像は早く送られます。

重要!

- お気に入りフォルダ(「FAVORITE」フォルダ)は内蔵メモリーにのみ作成されるため、パソコン上でお気に入りフォルダのファイルを表示するときは、カメラからメモリーカードを取り出した状態でUSBクレードルにセットして、USB通信を行ってください(93、103ページ)。

82

その他の設定について

ファイルの連番のカウント方法を切り替える

撮影時にファイル(画像データ)に付く連番(74ページ)のカウント方法を切り替えることができます。

1. RECモードまたはPLAYモードにして[MENU]を押します。

2. “設定”タブ→“ファイルNo.”を選び、[▶]を押します。

3. [▲][▼]で設定内容を選び、[SET]を押します。

メモリする : 今まで撮影したファイルの連番を記憶します。ファイルを消去したり、メモリーカードを交換しても、記憶した連番からファイル名を付けます。

メモリしない : ファイルの連番は記憶せずに、最大の連番+1からファイル名を付けます。

操作音のオン/オフを切り替える

操作音(BEEP音)のオン/オフを切り替えることができます。

1. RECモードまたはPLAYモードにして[MENU]を押します。

2. “設定”タブ→“操作音”を選び、[▶]を押します。

3. [▲][▼]で設定内容を選び、[SET]を押します。

入 : 操作音が鳴ります。
切 : 操作音は鳴りません。

83

起動画面のオン/オフを切り替える

RECモードで電源を入れたとき、カメラが記録している画像を起動画面として、[液晶モニター]に約2秒間表示するかどうかを切り替えることができます。

1. RECモードまたはPLAYモードにして[MENU]を押します。

2. “設定”タブ→“起動画面”を選び、[▶]を押します。

3. [◀][▶]で起動画面にしたい画像を選びます。

- 設定可能な画面は、静止画および、2秒以下、200KB以下のムービー画像です。

4. [▲][▼]で設定内容を選び、[SET]を押します。

入 : 設定時に表示していた撮影画面を起動画面として表示します。

切 : 起動画面は表示しません。

重要!

- 起動画面に設定した撮影画像(静止画/ムービー画像)は、起動画像メモリーに登録されます。このメモリーには、画像は一つしか登録できません。起動画面を別の撮影画像に変更すると、メモリー内の画像は上書きされてしまいますので、変更する前の撮影画像に戻すときは、変更する前の画像データが必要となります。また、起動画像に登録した撮影画像(静止画/ムービー画像)を、設定画面から消去することはできません。

84

お気に入りフォルダからファイルを消去する

1. PLAYモードにして[MENU]を押します。

2. “再生機能”タブ→“お気に入り”を選び、[▶]を押します。

3. [▲][▼]で“消去”を選び、[SET]を押します。

4. [◀][▶]で、お気に入りフォルダから消去したいファイルを選びます。

5. [▲][▼]で“消去”を選び、[SET]を押します。

- お気に入りフォルダからファイルを消去します。

6. 設定を終えるには[▲][▼]で“キャンセル”を選び、[SET]を押します。

重要!

- お気に入りフォルダのファイルは、72ページの消去操作により消去することはできません。ただし、フォーマット操作(88ページ)を行うと、消去されてしまいます。

アラームを鳴らす

指定した時刻にアラームを鳴らし、同時に指定した画像を表示できます。最大3つの時刻を設定できます。

アラームを設定する

1. PLAYモードにして[MENU]を押します。

2. “再生機能”タブ→“アラーム”を選び、[▶]を押します。

3. [▲][▼]で設定したいアラームを選び、[▶]を押します。

4. [◀][▶]で項目を選び、[▲][▼]で設定内容を選びます。

- 時刻、1回/毎日、オン/オフが設定できます。

5. [DISP]を押します。

- ここで[SET]を押してもアラームの設定を終えることができます。

6. [◀][▶]で表示したい画像を選び、[SET]を押します。

7. 内容を確認して[SET]を押します。

- アラームの優先順は設定1、設定2、設定3です。

アラームを止める

アラームは電源をオフにした状態で、設定した時刻になると約1分間鳴り続けます。その後、電源オフの状態に戻ります。途中で止めたい場合は、何かボタンを押してください。USBクレードル上で充電中の場合は、USBクレードルの【USB】、【PHOTO】ボタン、カメラのボタン（【ズームボタン】以外）を押してください。

- 重要!** ● アラームは次の場合は鳴りません。
- 電源がオンになっている
 - USB通信中
 - フォトスタンド機能使用中

日時を設定し直す

日時を設定し直したいときは、ホームタイム(自宅の日時)を設定してから、日時の設定を行います。

- 重要!** ● 日時の設定を行う前にホームタイムを自分の住んでいる地域に正しく設定しないとワールドタイム(86ページ)の日時が正しく表示されませんのでご注意ください。

ホームタイムの都市を設定し直す

1. RECモードまたはPLAYモードにして【MENU】を押します。
2. “設定”タブ→“ワールドタイム”と選び、【▶】を押します。
 - 現在設定されている内容が表示されます。
3. 【▲】【▼】で“自宅”を選び、【▶】を押します。
4. 【▲】【▼】で“都市”を選び、【▶】を押します。
5. 【▲】【▼】【◀】【▶】で自宅の地域を選び、【SET】を押します。
6. 【▲】【▼】で自宅の都市を選び、【SET】を押します。
 - 日本で使う場合は“Tokyo”を選んでください。
7. 【SET】を押して、設定を終了します。

85

ホームタイムの日時を設定し直す

1. RECモードまたはPLAYモードにして【MENU】を押します。
2. “設定”タブ→“日時設定”と選び、【▶】を押します。
3. 日付と時刻を合わせます。
 - 【▲】【▼】：カーソル(選択枠)の部分の数字などを変えます。
 - 【◀】【▶】：カーソル(選択枠)を移動します。
 - 【DISP】：12時間表示と24時間表示の切り替えができます。
4. 【SET】を押して、設定を終了します。

日付の表示スタイルを切り替える

画面に表示される日付の表示スタイルを3通りの中から選ぶことができます。

1. RECモードまたはPLAYモードにして【MENU】を押します。
2. “設定”タブ→“表示スタイル”と選び、【▶】を押します。
3. 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。
 - 例) 2003年10月23日
 - 年/月/日：03/10/23
 - 日/月/年：23/10/03
 - 月/日/年：10/23/03

86



ワールドタイムを表示する

購入時に設定した自宅の日時とは別に、海外旅行などで訪問する都市の日時を1都市選んで表示することができます。世界162都市(32タイムゾーン)に対応しています。

ワールドタイムを表示させる

1. RECモードまたはPLAYモードにして【MENU】を押します。
2. “設定”タブ→“ワールドタイム”と選び、【▶】を押します。
 - 現在設定されている内容が表示されます。
3. 【▲】【▼】で“訪問先”を選びます。
 - 自宅：購入時に設定した自宅の日時を表示します。
 - 訪問先：訪問先として設定した都市の日時を表示します。
4. 【SET】を押して、設定を終了します。

ワールドタイムを設定する

1. RECモードまたはPLAYモードにして【MENU】を押します。
2. “設定”タブ→“ワールドタイム”と選び、【▶】を押します。
 - 現在設定されている内容が表示されます。
3. 【▲】【▼】で“訪問先”を選び、【▶】を押します。
 - 自宅の都市について設定する場合は、“自宅”を選びます。
4. 【▲】【▼】で“都市”を選び、【▶】を押します。
5. 【▲】【▼】【◀】【▶】で訪問先の地域を選び、【SET】を押します。
 
6. 【▲】【▼】で訪問先の都市を選び、【SET】を押します。
 - 現在設定されている内容が表示されます。
7. 【SET】を押して、設定を終了します。

サマータイムを設定する

1. RECモードまたはPLAYモードにして【MENU】を押します。
2. “設定”タブ→“ワールドタイム”と選び、【▶】を押します。
 - 現在設定されている内容が表示されます。
3. 【▲】【▼】で“訪問先”を選び、【▶】を押します。
 - 自宅の都市について設定する場合は、“自宅”を選びます。
4. 【▲】【▼】で“サマータイム”を選び、【▶】を押します。
5. 【▲】【▼】でサマータイムの設定を選びます。
 - 入：サマータイムになります。
 - 切：通常の時刻になります。
6. 【SET】を押します。
 - 現在設定されている内容が表示されます。
7. 【SET】を押して、設定を終了します。

87

表示言語を切り替える

画面のメッセージを10の言語の中から選ぶことができます。

1. RECモードまたはPLAYモードにして【MENU】を押します。
2. “設定”タブ→“Language”と選び、【▶】を押します。
3. 【▲】【▼】【◀】【▶】で設定内容を選び、【SET】を押します。
 - 日本語：日本語
 - English：英語
 - Français：フランス語
 - Deutsch：ドイツ語
 - Español：スペイン語
 - Italiano：イタリア語
 - Português：ポルトガル語
 - 中国語：中国語(繁体)
 - 中国语：中国語(简体)
 - 한국어：韓国語

内蔵メモリーをフォーマットする

内蔵メモリーをフォーマットすると、内蔵メモリーの内容がすべて消去されます。

- 重要!** ● 内蔵メモリーをフォーマットすると、二度とデータを元に戻すことはできません。フォーマット操作を行う際は、本当にフォーマットしてもよいかどうかをよく確かめてから行ってください。
- ファイルデータにメモリープロテクト(75ページ)をかけていても、内蔵メモリーをフォーマットすると、すべてのデータが消去されます。
 - お気に入りに登録した画像(82ページ)や、ベストショットモードでカスタム登録した内容についても消去されますのでご注意ください。起動画面に設定した画像は消去できません。
1. 本機にメモリーカードが入っていないことを確認します。
 - もしもメモリーカードが入っている場合は、取り出してください(90ページ)。
 2. RECモードまたはPLAYモードにして【MENU】を押します。
 3. “設定”タブ→“フォーマット”と選び、【▶】を押します。
 4. 【▲】【▼】で“フォーマット”を選び、【SET】を押します。
 - フォーマットを実行しないときは、“キャンセル”を選んでください。

88